

# イスカンダル・マレーシアにおける低炭素社会実現に向けた人・コミュニティづくりプロジェクト プロジェクトの全体概要

---

報告者:

京都市環境保全活動推進協会 新堀春輔

## プロジェクトの概要

プロジェクト 名称	低炭素社会実現に向けた 人・コミュニティづくりプロジェクト
事業実施枠組	JICA草の根技術協力事業 地域活性化特別枠
事業対象エリア	マレーシア国ジョホール州イスカンダル開発地域
事業実施期間	2016年2月～2018年12月(2年11ヵ月)
提案団体	京都市(環境政策局地球温暖化対策室)
事業実施団体	公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会 特定非営利活動法人 気候ネットワーク * 2団体による共同事業体
現地カウンター パート	マレーシア工科大学 (UTM), イスカンダル地域開 発庁 (IRDA), ジョホール州教育局 (JPNJ)

# プロジェクト対象エリア



\* <http://www.env.go.jp/earth/coop/eco-csrjapan/dr-ho.html>より引用

## プロジェクトの背景

- 地球規模課題対応国際科学技術協力 (SATREPS) プロジェクトの成果として作成された「マレーシア・イスカンダル開発地域における2025年に向けた低炭素社会ブループリント」(2012年公表)の12のアクションの内、アクション6「低炭素社会ライフスタイル」の実行施策の具体化と社会実装

2013～2015年	イスカンダル開発地域における小学校向け低炭素社会プログラム(こどもエコライフチャレンジ)の導入・展開
2015年2月	低炭素教育の中等教育・地域コミュニティへの拡大、質の向上、継続的な実施体制の必要性指摘
2016年1月	JICA草の根技術協力事業による低炭素教育の拡充・向上の開始

# プロジェクトの目標

## 【プロジェクト上位目標】

マレーシア・イスカンダル開発地域において、低炭素社会づくりの為の活動が当該地域全域に広がる。

## 【プロジェクト目標】

マレーシア・イスカンダル開発地域における、持続可能な低炭素社会を目指した段階的（小学校からセカンダリースクール、その次も視野に入れた）な低炭素教育の実施や地域コミュニティ単位の活動が広がりはじめ、家庭・コミュニティ単位での低炭素社会にむけた取組が始まり、それらの活動を促進・引率する人材が育っている。

## プロジェクト目標達成のための成果(アウトプット)

1	小学校での低炭素教育活動を支援・促進するコーディネーターが養成されている。
2	当該地域の全小学校で実施が継続され、クオリティ向上と自立的なプログラム運営のための体制が整っている。

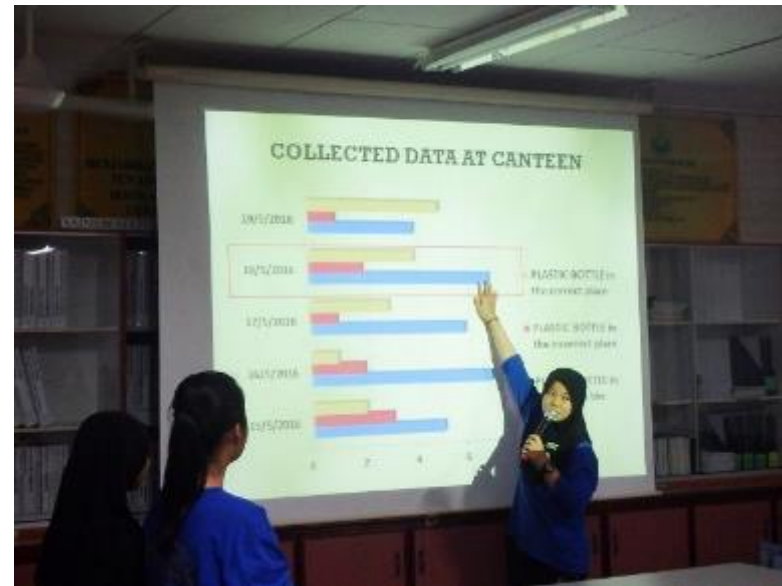
活動①: イスカンダル版  
小学校における低炭素  
教育「こどもエコライフ  
チャレンジ」(IMELC)推進  
の支援



## プロジェクト目標達成のための成果(アウトプット)

3	セカンダリースクールにおける低炭素教育プログラムの継続・推進の為に、学校教員等に研修・フォローアップを行うコーディネーターが養成されている。
4	セカンダリースクールにおける低炭素教育プログラム及びその実施のための教材が開発され、それを継続的に実施していくために、教員への研修・フォローアップを行う体制が整っている。

### 活動②: セカンダリースクールにおける課題解決型学習(PBL)推進の支援





## プロジェクト目標達成のための成果(アウトプット)

5	学校・地域コミュニティに対する研修・フォローアップを行うコーディネーターが養成されている。
6	学校を中心とした地域コミュニティにおける、低炭素社会に向けたコミュニティ活動がモデル校を中心に実施され、それをモデルとして継続的かつ他の地域コミュニティにも広げていくための体制が整っている。

### 活動③: 地域コミュニティにおける環境保全活動推進の支援





## プロジェクト目標達成のための成果(アウトプット)

7 当該地域における持続可能な低炭素社会を目指した段階的な低炭素教育及び活動のためのネットワークが構築されている。

活動④: 活動①～③を横断的にかつ連携しながら実施し、低炭素社会を目指すためのネットワークの構築

